

人文社会科学部後援会事業実施報告

申請者氏名：菅谷克行（現代社会学科 メディア文化メジャー 教授）

申請 No：1-22

事業区分：学生の教育研究活動支援

参加者：15 名（3 年生 7 名、4 年生 8 名）

内容：菅谷ゼミ合宿（2024 年 9 月 23 日（月）～9 月 25 日（水）、山梨県南都留郡富士河口湖町）

菅谷研究室では、専門教育・研究指導の一環として、毎年夏に合宿形式のゼミを実施している。専門分野・研究に関する学びの深化と、学年を超えたゼミ生相互の親睦を深めることを主テーマとし、4 年生が中心となって企画・実施している。2024 年度合宿の主な活動は下記のとおり。

◎卒業研究の進捗報告：

4 年生は、卒業研究の進捗状況を口頭発表形式により報告した。発表後の質疑応答・議論を通じ、中間発表会までに解決すべき課題や、卒業論文執筆上の留意点を確認した。宿泊所内でのゼミ実施のため、時間的制約を気にすることなくディスカッションできた。

◎輪読会：

3 年生を中心に輪読会を実施した。課題図書は『メディア文化論 メディアを学ぶ人のための 15 話（有斐閣）』とし、書籍内容の論点整理とともに関連事例・情報の共有や意見交換を通じ、理解を深めた。こちらも宿泊所内で時間を気にせず深夜までディスカッションできた。

◎情報デザインの観点で各所を見学・体験：

宿泊所の周辺各所を、情報デザインの観点に留意しながら見学した。山梨県立リニア見学センターでは、試験車両の展示、超電導理解のための簡易実験、リニア開発の歴史展示、リニア走行試験等を見学し、訪問者に分かりやすい展示・解説や簡易実験・体験の手法など、情報デザインの実践事例として多くのことを学ぶことができた。また、河口湖周辺では、近年増加傾向にある外国人観光客に向けた案内や配慮が随所に見られ、情報デザインの知見がどのように活かされているのか幅広い観点で確認することができた。その他、インストラクターによる樹海・富士風穴の探検体験や、フルーツ狩りなども行い、豊かな自然環境の中で、ゼミメンバー全員が楽しみながら学び、親睦を深めることもできた。



宿泊所でのゼミナール



リニア見学センター